

2019年度以降の新たな観光列車の取り組みについて

JR北海道では、これまでJR北海道が培ったノウハウを活かし新たな観光列車を投入するとともに、他の鉄道事業者のご協力のもと北海道内で観光列車を走らせるなど、観光列車に関する新たな取り組みを実施します。

1 JR北海道が現在保有する観光列車用車両について（別紙1参照）

2 2019年度以降の観光列車運行に向けた検討について

JR北海道は、2018年7月に国土交通省より「事業の適切かつ健全な運営に関する監督命令」を受け、その中でJR北海道の経営改善に向けた取り組みとして、観光列車の充実を求められたことから、以下の2点を柱に新たな観光列車の運行を検討しました。

(1) クルーズトレイン型の列車

- ・北海道内の観光地を巡るクルーズトレインについて、道内に数多くある上質な温泉宿泊施設での宿泊もお楽しみいただくため、宿泊サービスを提供しない「昼行列車」タイプの列車に絞って検討を行いました。その条件に合致する列車として、東京急行電鉄株式会社（以下、東急電鉄）のご協力のもと、同社が保有する「THE ROYAL EXPRESS」車両を北海道内で運行することとなりました。
- ・あわせて、観光列車やイベント列車のほか、繁忙期の臨時列車などで使用する特急タイプの多目的車両を新製します。

(2) 地域活性化につながる列車

- ・通常は定期列車として運転し、観光・イベント用の臨時列車にも使用できる列車として、2018年にキハ40形「北海道の恵み」シリーズ車両4両を投入しましたが、ご好評なことから、2019年度にキハ40形2両を新たに改造し投入します。
- ・また、東日本旅客鉄道株式会社（以下、JR東日本）に車両の貸出しについてご相談した結果、同社が保有する「びゅうコースター風っこ」車両をご提案いただいたことから、この車両を使用した新しい観光列車を運行します。

JR北海道は、「監督命令」を受け、「利用が少なく鉄道を持続的に維持する仕組みの構築が必要な線区」において、地域の皆さまのご協力をいただきながら、線区の維持・活性化につながる「事業計画（アクションプラン）」を策定しているところであり、これらの列車も活用していけるよう、地域の皆さまと相談してまいります。

3 JR北海道における、新たな観光列車に関する取組みについて

(1) 当社車両による新たな観光列車を投入します！

地域と連携し沿線の活性化に取り組むことを目的に、観光列車として運行可能な車両の改造・新製を行います。

① キハ40形「山紫水明（さんしすいめい）」シリーズの投入について

地域の皆さまと連携して列車を活用した沿線活性化の取り組みを更に推し進めるため、エクステリア及びインテリアを変更したキハ40形2両を増備します。この車両は、定期列車として運行するほか、観光列車やイベント列車としても運行します。

- 改造車両 : キハ40形一般形気動車
- 改造両数 : 2両
- 車両名称 : 「紫水(しすい)」号、「山明(さんめい)」号
- 車両概要 : 別紙2参照
- 使用開始時期 : 2019年9月頃を予定

② 多目的特急車両の新製について

観光列車やイベント列車、繁忙期の臨時列車および、定期列車の代替輸送用として運行可能な多目的特急車両の新製を予定しています。車両は、「スーパー北斗」や「スーパーとちぎ」で使用している261系1000代特急形気動車をベースとして、エクステリアやインテリアのデザインおよび一部設備を変更したものとし、車内でのイベントや食事などに利用できるフリースペースを設置します。

- 車両形式 : 261系5000代特急形気動車(仮称)
- 製作編成数 : 2編成(各5両編成)
- 車両名称 : 「はまなす」編成、「ラベンダー」編成(検討中)
- 車両概要 : 別紙3参照
- 使用開始時期 : 2020年秋を予定

(2) JR東日本・東急電鉄・JR貨物と協力し、道内に観光列車を走らせます！

2月12日に、JR北海道、JR東日本、東急電鉄、日本貨物鉄道株式会社（以下、JR貨物）の4社合同にてお知らせいたしました。JR北海道は、JR東日本、東急電鉄、JR貨物の協力のもと、北海道胆振東部地震の影響を受けた北海道を応援するため、観光振興と地域活性化を目的に、北海道内に観光列車を走らせます。

■観光列車の概要について

| 提供会社 | 提供する観光列車 | 運行予定時期 | 運行予定エリア | 発売予定時期 | 別添資料 |
|-------|-------------------|-------------------------|----------|--------|------|
| JR東日本 | びゅうコースター風っこ | 2019年7～9月の土・日・祝日 | 宗谷線 | 2019年春 | 別紙4 |
| 東急電鉄 | THE ROYAL EXPRESS | 2020年5～8月の約1カ月の週4日程度を想定 | 札幌～道東エリア | 2019年冬 | 別紙5 |

※詳細につきましては、別添資料をご参照ください。

JR北海道が現在保有する観光列車用車両について

| 種別 | 列車名・車両名 | イメージ | 主な 運行区間 | 主な 運行時期 |
|--------------|--|---|-------------|------------|
| 特急気動車 タイプ | ノースレインボー エクスプレス |  | 札幌～富良野 | 6～9月 |
| | クリスタル エクスプレス |  | 札幌～富良野 | 6～9月 |
| 一般気動車 タイプ | 流氷物語号 |  | 網走～ 知床斜里 | 2～3月 |
| | 「北海道の恵み」 シリーズ (道東・道北・道央・道南 各1両) |  | 全道 | 通年 |
| | ルパン三世 ラッピング車両 |  <small>©モンキー・パンチ/TMS・NTV</small> | 釧路～根室 | 通年 |
| | 地球探索鉄道花咲線 ラッピング車両 |  | 釧路～根室 | 通年 |
| その他 | SL冬の湿原号 |  | 釧路～標茶 | 1～2月 |
| | 富良野・美瑛 ノロッコ号 |  | 旭川～富良野 | 6～9月 |
| | くしろ湿原ノロッコ号 |  | 釧路～塘路 | 4～10月 |

キハ40形「^{しすい}紫水」号、「^{さんめい}山明」号の概要

1. 導入概要

- 改造両数 :2両(キハ40形一般形気動車)
- 使用開始時期 :2019年9月頃を予定

2. 改造内容

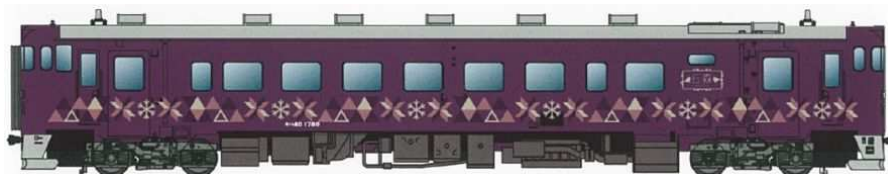
(1) 車両コンセプト

「山紫水明」:山は日に映えて紫色に見え、川の水は澄んで清らかであることを表し、山や川の景色が美しい姿を表現しています。

(2) エクステリア(案)

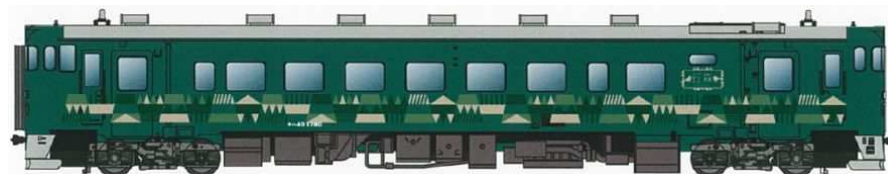
(a) 「紫水(しすい)」号

深みのある紫色のカラーリングをベースとし、海や雪の結晶、空の星をモチーフとした要素を組み合わせることで、凛としたたたずまいに華やかさを感じられるデザインとします。



(b) 「山明(さんめい)」号

広大な大地をイメージした深い緑色をベースとし、山々や樹木、パッチワーク畑をモチーフとした要素を組み合わせることで、雄大さを感じられるデザインとします。



(3) インテリア(案)

地域と連携し沿線の活性化に取り組むことを目的に、2018年に4両改造工事を行ったキハ40「北海道の恵み」シリーズの豊かな自然とさわやかなイメージを踏襲したデザインとし、材料に木材を使用した、飲食等で使用できるテーブルや腰掛を設置します。



インテリアイメージ

- ・内装は木材及び木目材料を使用
- ・木製テーブルを新たに設置

(4) 改造費

約10百万円(1両あたり)

261系多目的特急車両の概要

1. 導入概要

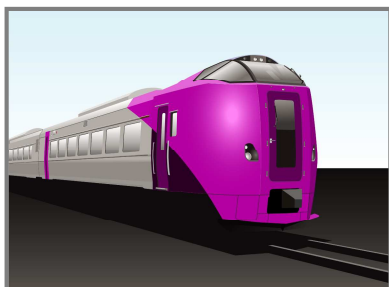
- 車両形式 : 261系5000代特急形気動車(仮称)
- 製作両数 : 2編成(5両編成)
- 使用開始時期 : 2020年秋を予定
- 使用目的 : 多客臨時列車、イベント列車、定期列車の代替輸送など

2. 車両デザイン

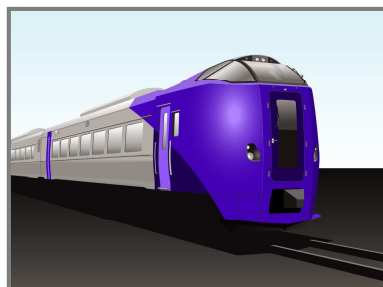
- デザインコンセプト(検討中)

北海道の代表的な花である、「はまなす」、「ラベンダー」のイメージとしたデザインとしています。

- エクステリアデザイン(検討中イメージ)



エクステリアデザイン案
(はまなす編成)



エクステリアデザイン案
(ラベンダー編成)

- インテリアデザイン(検討中イメージ)



インテリアイメージ案
(2～5号車)



フリースペースイメージ案
(1号車)

3. 車両の特徴

- 1号車を車内でのイベントや食事などに利用できるフリースペースとします。
- 2～5号車の座席には、食事などの際に向かい合わせにしても利用できるテーブルを設置します。
- 全座席にパソコンや携帯電話の充電などにご利用いただけるコンセントを設置します。
- 無料公衆無線LANサービスを提供します。

2019年夏季にJR東日本の車両を使用した観光列車を運転します！

北海道旅客鉄道株式会社（以下、JR北海道）と東日本旅客鉄道株式会社（以下、JR東日本）は連携し、シニア会員組織「大人の休日倶楽部」、インターネット予約サービス「えきねっと」等のサービス展開を行っています。このたび、2018年9月に発生した北海道胆振東部地震からの観光復興を趣旨に、JR東日本が支援し、JR東日本の保有する車両をJR北海道が借り受けて、2019年夏季に観光列車を運転しますので、概要をお知らせします。

1 使用車両「びゅうコースター風っこ」の概要

「びゅうコースター風っこ」（2両編成）を使用します。

- 運転開始年月：2000年6月（キハ48形車両改造車）
- 主な運転エリア：陸羽東線、左沢線、石巻線等を中心に臨時列車として運転
- 窓ガラスを外すことで、風を感じることができる車両です。
- 車内は木製のボックスシート、テーブル、白熱灯でレトロな温かみを感じられます。



【外観】



【車内】

2 運転概要

2019年7月から9月にかけて、宗谷線での運転を予定しています。

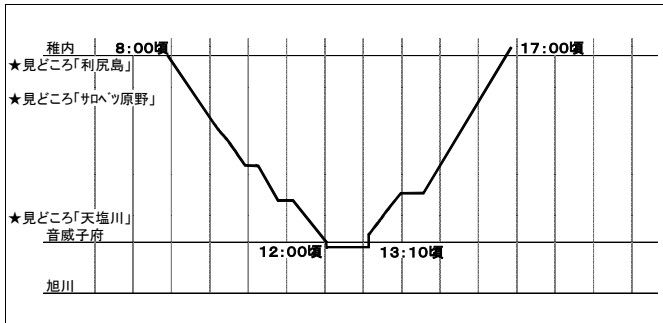
(1)宗谷線での運転にあたって

- 日本最北の鉄道路線である宗谷線は、広大な田園風景から、天塩川を囲む森林、サロベツ原野の向こうに見える利尻富士まで、移り変わる車窓が魅力です。
- 今回、JR東日本からお借りした「びゅうコースター風っこ」車両を使用して、現在観光列車を運転していない宗谷線において、JR北海道が新しい観光列車を運転します。
- 今夏の宗谷エリアの観光の目玉として、沿線の魅力を活かした鉄道の活性化を目的に、沿線地域の皆さまと協力しながら、宗谷線沿線を盛り上げる取り組みを行っていきます。

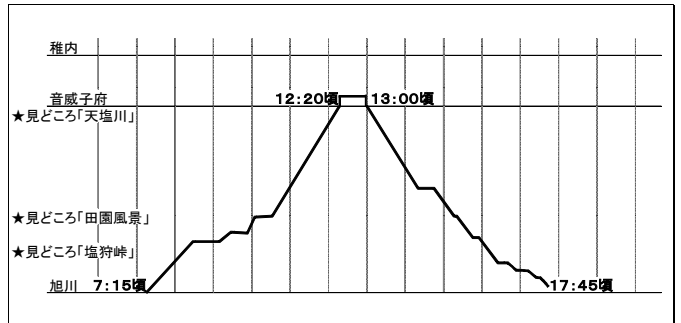
(2)観光列車の運転計画概要

- 列車名称：「風っこ そうや」号
- 運転日：2019年7月27日(土)～9月8日(日)の土・日・祝日(15日間を予定)
- 運転区間：運転日により「稚内～音威子府間」または「旭川～音威子府間」で運転します。
- ダイヤイメージ：

【稚内～音威子府間を運転する場合】



【旭川～音威子府間を運転する場合】



- 運転編成：JR北海道の「北海道の恵み」シリーズ車両を連結して運転し、「びゅうコースター風っこ」車両の魅力に加え、「北海道の恵み」を体感できる車内でのイベント等もご用意していきます。



※この概要は2月12日現在の予定です。詳細な運転日、運転時刻等は5月頃に改めてお知らせします。

3 その他

- 列車の運行にあたっては、JR北海道がJR東日本から借り受けた車両を運行し、商品造成、販売等を行います。

(参考) 宗谷線の見どころ



【サロベツ原野と利尻富士】



【天塩川の森】



【田園風景】



※画像は全てイメージです。
実際と見え方が異なる場合があります。

JR北海道と東急電鉄が運行する観光列車について

1 使用車両「THE ROYAL EXPRESS」の概要

○運転開始年月：2017年7月（伊豆急行2100系「アルファリゾート21」改造車）

○主な運転エリア：横浜～伊豆急下田間等を中心に臨時列車として運転

○車両デザイン：8両編成（定員100名）

- ・「美しさ、煌めく旅。」をコンセプトに、デザインは水戸岡鋭治氏が手がけています。
- ・車両ごとにデザインが異なり、先端技術から生まれる素材や工法に、伝統的な素材や職人の技を組み合わせ、最高の素材と技術の粋が散りばめられた空間が広がります。
- ・5号車から8号車は落ち着いた雰囲気「プラチナクラス」、1・2号車はお子さまから大人までお楽しみいただける「ゴールドクラス」、展覧会や結婚式にも使用できる3号車の「マルチカー」、こだわりの料理を準備する4号車「キッチンカー」から構成されています。

<車両イメージ>



外 観

5号車（客車）



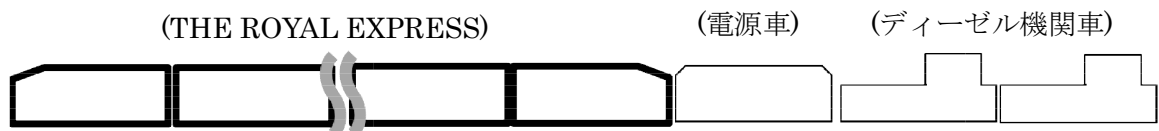
6号車（食堂車）

8号車（ライブラリー）

2 計画概要

- 列車名称 : THE ROYAL EXPRESS
- 運転日 : 2020年5～8月の間の約1ヶ月、週4日程度を想定
- 運転エリア : 札幌～道東エリア
- 運転編成 : 北海道内での運転にあわせた編成について今後検討

<編成イメージ>



※この概要は2月12日現在の予定です。詳細な運転日、運転時刻等は決まり次第改めてお知らせします。

3 その他

- 列車の運行にあたっては、東急電鉄が旅行商品の造成、販売、車内サービス等を行い、JR北海道が列車の運行に協力します。